

登録コード	A3591346	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	齋藤 勝晴	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					発表資料を作成しプレゼンテーションできるようになる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					課題を見つけてプレゼンテーションに反映することができるようになる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					発表資料を作成しプレゼンテーションできるようになる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					課題を見つけてプレゼンテーションに反映することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。							
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。分かりやすい発表資料を作成してください。							
(7)成績評価の基準	発表内容、討議への参加状況で評価します。 発表は、作成資料の内容、口頭発表の内容、質疑への対応で評価します。討議への参加状況は、各発表者に対する質問内容などをもとに評価します。							
(8)事前事後学習の内容	論文紹介に関しては、専攻研究に関連する論文を選び、内容を十分把握した上で、発表資料（配布資料、口頭発表用資料）を事前に準備してください。 専攻研究の計画・進捗・まともに関する発表については、事前に指導教員と相談の上、発表資料（配布資料、口頭発表用資料）を事前に準備してください。							
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートは実施しません。							
(10)成績評価の方法	発表内容60%、討議への参加状況40%。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内は口頭で及びそれ以外の時間はメール等に対応します。 土壌生物学研究室（C棟3階） Tel 0265-77-1407, e-mail saitok@shinshu-u.ac.jp							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。 発表までの準備にかなりの時間を要するので計画的に進めてください。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人） Mycorrhizal Symbiosis (Smith, S. E. and Read, D. J., Academic Press) 新版 分子レベルからみた植物の耐病性（島本功・渡辺雄一郎・拓殖尚志監修、秀潤社）							